

氏名 木村 修

基本計画に対する意見(市民環境経済分科会)

① 基本施策: 22 自然との共生

意見

《2. 施策の方向》に「三番瀬のラムサール条約への登録」を位置付けるべきと考える。

理由

自然と共生したまちづくりを目指す上で、生物多様性の保全や環境学習のために三番瀬のラムサール条約への登録を推進することは象徴的かつ重要な取り組みであるが、本計画案では文言が削除されている。

先日の分科会質疑でも市内で再検討するとの答弁であったので、再検討の上、施策内に文言として加えていくべきである。

② 基本施策: 18 農水産業

意見

農業・漁業就業者の減少に対応するために、積極的に「デジタル(ICT)技術の活用」をしていくべきと考える。

理由

農業においては、高齢化・後継者不足に対応するため、農業のスマート化が必要と思います。

また、これまで培ってきた経験や技術をデータや仕組みとして残しておくことは、船橋市の農業を持続可能なものにしていくため、進めていくべきです。

漁業においても、同様にスマート化の必要性があります。

今回碎石を撒くことでアサリが復活したことなど、船橋の漁場を持続可能にしていくためにデータの蓄積と活用、従事者の経験を残していく取り組みを進めるべきです。